

発言通告書（総括表）

平成30年第1回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	小林(た)議員 (自民)	1. 不便益という発想(不便の効用)について 2. 防災船着場の一般開放について	①便利になることで失われた益がある。便利や効率重視が益という発想をもう一度考え直す必要がある。今まで便利として進めた計画や施設建設も振り返る時期だが如何か。 ②千代田区として公共施設づくり、高齢者施設、子ども施設、行政計画策定、都市計画マスタープラン等見直し時に不便益という発想が必要と考えるが区のご見解を求める。 ①和泉橋の防災船着場は、段差や護岸から下るスロープも急角度で災害時災害弱者にとって避難のため利用は困難、至急改善すべき。 ②一般開放していれば、日常的な利用が多いため、このような船着場の利用上の問題を発見しやすく、迅速な対応が可能ではないか。 ③川幅や水深の問題は、船着場ごとの現場の状況に習熟した操船者が必要、一般開放は、限定的な利用とは違い操船者を得やすいがご見解は。 ④震災時等で船を活用して怪我人を搬送すること等は出来ないか。 ⑤「東京都帰宅困難者対策条例」で大規模災害の発生時の代替交通手段の確保の手段の一つとして、船を想定。帰宅困難者対策として船着場を活用すべきだが如何か。	区長・教育長 並びに 関係理事者
2	内田議員 (自民)	1. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会について 2. 地域交通ネットワークについて	①地域に残るソフト・レガシーとは？ ②「千代田区スポーツボランティア」の提案 ①地域福祉交通「風ぐるま」の現状と課題 ②地域交通政策と「コミュニティバス」の提案	区 長 並びに 関係理事者
3	米田議員 (公明)	自殺対策について 禁煙対策について	日本での自殺者は8年連続減少したとはいえ、未だに2万人を超えている。中でも15才～39才までの死因のトップは自殺である。 改正自殺対策基本法において区市町村にも自殺対策計画の策定が義務付けられた。そこで ①本区ではどのような対策をおこなっているか。 ②学校ではどのように対策しているか。 ③ SNS を使った悩み相談を活用した取り組みの提案をする。所見を求める。 東京オリンピック・パラリンピックに向け、タバコに対する規制が進む。 これを契機にタバコをやめたいと思っている区民の声をよく聞く。そこで禁煙外来に対する補助を提案する。所見を求める。	区 長 お よ び 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成30年第1回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
4	永田議員 (自民)	<p>明治維新 150 年と歴史遺産活用について</p> <p>健康寿命の延長と正しい歩行について</p>	<p>明治維新 150 年の節目に本区の歴史遺産を活用して先人の功績を学ぶ機会を作ってはどうか。幕末から近代化への流れを断片的な知識ではなく物語として理解を進め国や地域への愛着を高めるきっかけにしたい。</p> <p>平均寿命と健康寿命の差が 10 歳程ある。誰もが生涯に亘り医療、介護に依存せず自立した生活を送れるように様々な支援を考えるべきだ。特に食と運動を中心にした生活習慣改善が大切である。運動については年齢問わず多くの人が正しい歩き方ができていないことが怪我につながっている。子供から高齢者まで専門家による指導の実施を求めたい。</p>	<p>区長、教育長 及び 関係理事者</p>
5	池田議員 (自民)	<p>・ 2020 東京大会に向けた公衆トイレ等の整備と民間トイレの活用について</p>	<p>・ 整備が急がれる公衆トイレ・公園トイレの一斉改修の計画と、実態調査を踏まえ民間トイレの一般開放等、誰もが安心して利用できる環境整備について区の方針を再確認したい。</p>	<p>区 長 及 び 関係理事者</p>
6	大坂議員 (自民)	<p>・ 中小企業の支援施策について</p> <p>・ 公園等の受動喫煙対策について</p>	<p>・ 今年で 10 回を迎えた千代田ビジネス大賞の実績と成果について。</p> <p>・ 今後の中小企業支援のありかたについて。</p> <p>・ 16 公園の禁煙化とその後の展開について。</p>	<p>区 長 及 び 関係理事者</p>
7	小枝議員 (声)	<p>1、道路整備における重要な論点</p> <p>2、行政が掲げた目標や理念が空論になるのはなぜ</p> <p>3、街路樹維持管理費の推移と道路財源</p>	<p>救急車両や災害時の輸送道路の確保について、判断し、責任を持つのはどこの行政機関、どの部署か。</p> <p>明大通りと神田警察通りについて、第三次救急車両の運行、災害時のけが人輸送、物資輸送にとってどうかということについては、いつだれがどのように検証したのか。</p> <p>千代田区にはすばらしい条例、計画、目標がありながら、それらに向かって前に進まない。進行管理や、道路整備に環境景観分野の専門性をカバーできる手順手続きが確立されていない。これらを踏まえ、策定が遅れる「道路整備方針」について伺う。</p> <p>千代田区の道路財源は、平成 18 年度から 10 年で 20 億円以上の増額となった。一方全国的には、街路樹管理予算の削減により、清掃、除草、剪定などの回数が減り続け、都市の魅力を維持することが困難になる傾向がある。緑豊かな心地よい区道を維持するには、維持管理費のあり方について検討する必要がある。</p>	<p>区 長 並 び 関係理事者</p>

発言通告書（総括表）

平成30年第1回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
7	小枝議員 (声)	4、成熟した議論がされるテーブルの必要性 5、民泊について	重要な論点を落とさず住民ニーズも把握できる安定したテーブルのあり方。 神田地区における規制の緩さは、JK ビジネスなど子どもたちを危険な環境に追い込む余地を残している、他	区 長 並 び に 関係 理事 者
8	桜井議員 (自民)	○障害者福祉施策について	○昨年、第一回定例会での『新たな障害者施設の増設を求める決議』が全会一致で行われたが、区は新年度予算の中でどのような取り組みをされるのか。 ○障害者計画は、その骨格が示されている状況だが、新年度予算には精神障がい者の為の就労継続支援事業やグループホームの設置が計上されている。実現の見通しについて伺う。	区 長 及 び 関係 理事 者
9	たかざわ議員 (千代田)	1. バランスを重視した総合的なまちづくりとは何か 2. 有料トイレの増設の検討はできないか	昨年の第2回定例会のまちづくりに関する私の質問に対する答弁で「住み続けたい、商売を続けたい、そうした地権者の方々の思いに応えられるよう、バランスを重視した総合的なまちづくりを進めてまいります」とある。具体的にどのようなまちづくりを考えているのか？ オリンピック・パラリンピック開催に向けて、本年度「予算の概要」にトイレのリニューアルが載っていたが、相変わらずトイレが汚いという苦情がある。もっとこまめに管理する有料トイレを増やしてはどうか、秋葉原の有料トイレの現状は？	区 長 並 び に 関係 理事 者
10	牛尾議員 (共産)	(1) 子どもの貧困対策について (2) 保育園の待機児問題について	・低所得者世帯の子どもの進学や教育への支援や就学援助の対象者の拡大など対策の強化を ・区の待機児童対策の施策について問う ・区の保育所整備計画で待機児解消には十分なのかを問う ・保護者の復職を保障するために、やむを得ず認可外保育施設を利用する児童の保育料助成制度の創設を ・認可保育所増設のために新たな施策を提案する ・待機児解消の要であり、保護者が希望する区立保育所をなぜ増設できないのか認識を問う	区長、教育長 ならびに 関係 理事 者
11	飯島議員 (共産)	介護予防について	要介護リスクを減らすために、気軽に外出や趣味の継続を可能にするための経済負担軽減策を求める。 1) 風ぐるまをシルバーパス(20,510円券)で利用可能にすること 2) 介護予防に役立つ高齢者の多様な活動に、講師謝礼、会場費の助成を行いたれどもが気軽に参加できるようにすること	区 長 並 び に 関係 理事 者

発言通告書（総括表）

平成30年第1回定例会 一般質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
11	飯島議員 (共産)	サービス付き高齢者向け住宅 について	調理が困難になり、日常の声かけが必要になった高齢者が、住み馴れた地域で安心してく らせるために、低所得者も入居可能な家賃のサービス付き高齢者向け住宅を求める	区 長 並 び に 関 係 理 事 者
12	岩佐議員 (紡民)	1. 共生社会とドッグランの設 置について 2. 寄付文化の醸成に向けて	猫の殺処分ゼロが千代田ブランドとなりつつあり、イベントも年々盛大化している。継 続するための工夫は必要ではないか。 また、猫だけではなく動物との共生との観点から、区内にはまだないドッグランの設置 をしてはどうか。 「地方消費税の清算基準見直し」の検討により、今後の財政見通しは厳しくなりつつあ るにもかかわらず、区の事業へのニーズは多様化・拡大している。 ふるさと納税等も含めた様々な制度を活用し、多くの方が区の事業に寄与できる仕組み をつくってはどうか。	区 長 及 び 関 係 理 事 者
13	岩田議員 (民進ク)	色覚検査と子どもに対する配 慮について 千代田体操について	色覚検査の結果がいじめにつながらないように配慮はしているか。 また、授業の進め方でも平等に受けられるよう配慮はあるか 他の運動との比較における効用等について	区長・教育長 並 び に 関 係 理 事 者
14	はやお議員 (千代田)	1. 非喫煙者と喫煙者の共生 について 2. 東京 2020 大会に向けた 非喫煙者と喫煙者の共生につ いて	(1) 「千代田区生活環境条例」を踏まえた非喫煙者と喫煙者の共生に向けた取組みについて ・ 公共の場所(道路、公園等)における喫煙対策の成果と課題 (2) 非喫煙者と喫煙者の共生に向けた今後の具体的な取組みについて (1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた非喫煙者と喫煙者の共生 の取組みについて ・ 外国人の来街者が増加することが想定されるが見込みとその対策 (2) 国の「受動喫煙対策を盛り込んだ健康増進法改正案」や「東京都受動喫煙防止条例案」 を踏まえ区長に見解を問う ・ 非喫煙者と喫煙者の共生を目指し「マナーからルール、そしてマナーへ」をどう実 現するのか 以上	区長、教育長 並 び に 関 係 理 事 者